

神奈川県原水協通信

この夏の草の根活動・・・②

横浜駅東口・そごうデパート前(新都市プラザ)の「原爆と人間展」4日間(8/23~26)で

今年も1万人を超える人が来場!



今年も、横浜駅東口そごうデパート前「新都市プラザ」で、8月23日から26日までの4日間「原爆と人間展」を開催。連日多くの人々が訪れ4日間で10,500人が来場。詳細は後



横浜市北部(青葉区・緑区・都筑区)では

広島や長崎などの核兵器被害を伝えるパネルが展示されている横浜市都筑区で

横浜北部原水協は、今年も8月の活動を暑さに負けず元気に行いました。

8月6日には、10時~11時に東急田園都市線



青葉台駅で11人が参加して署名・宣伝行動を行いました。「私は被爆者です」とか「親戚に被爆者がいるんです」などと話し、署名しました。ここでは、ヒバクシャ国際署名は61筆でした。

6日午後には、15時~16時までJR横浜線十日市場駅前で14人が参加して署名・宣伝行動。



ヒバクシャ国際署名が56筆でした。この日の活動は8月6日ということもあり、市民の関心は高かったようです。右の新聞記事は、7月29日~8月9日まで、青葉区役所・区民活動支援コーナーでおこなわれた「原爆パネル展」の東京新聞記事です。主催は新日本婦人の会青葉支部です。



核兵器の惨禍 忘れないで

第二次世界大戦で広島と長崎に投下された原爆の被害を中心に、国内外の核兵器による惨禍を伝える「原爆パネル展」が横浜市都筑区同区役所ロビーで開かれています。

都筑区役所でパネル展

原爆ドーム周辺の写真や、長崎原爆の爆心地から約100メートル離れた浦上駅のラットホームに倒れて亡くなった母子の写真など、核兵器による被害を写真や絵などで伝えるパネル約五十枚が並ぶ。南太平洋ヒキ二環礁で一九五四年、米国の水爆実験で被ばくした漁船「第五福丸」なども紹介されている。

新日本婦人の会都筑支部が二〇一五年から毎年八月に開催し、今回が五回目。問い合わせは同支部事務局 3021へ。(杉戸佑子)

十五日まで、午前八時~午後十時(最終日は午後二時半まで)。十四日は庁舎内(都筑公会堂)で「平和を語るつどい」を開催する。午前十一時~正午に平和をテーマとした紙芝居など、午後二~四時には戦争体験や平和への思いを語り合う。(いずれも入場無料)

東京新聞2019年8月14日

